

高等学校の廃止について

高校教育課

平成 33 年（2021 年）3 月 31 日をもって望月高等学校を廃止する。

今後のスケジュール

- ・平成 30 年（2018 年）9 月議会定例会において高等学校設置条例に基づく議案提出

【参考】

1 高等学校設置条例

（統合又は廃止）

第 3 条 別表に掲げる高等学校を統合又は廃止する場合は、統合又は廃止に係る当該高等学校の生徒募集定員を決定する前に、議会の同意を得なければならない。

2 望月高等学校の状況

望月高等学校は、平成 29 年（2017 年）5 月 1 日をもって第 1 期長野県高等学校再編計画の再編基準に該当した。同年 12 月の教育委員会定例会の決定を踏まえ、同校を廃止するとともに、同校の施設を活用し、長野西高等学校通信制サテライト校を設置する方向で検討を進めることとした。

通信制の改革について

高校教育課

通信制の改革を次のように進める。

1 全体構想

通信制は、個々のペースで学ぶことができる利点を活かした教育により、多様な背景を持つ生徒たちの新たな学びの場として必要性が増してきている。

個に応じた通学の形態をとったり、ICT（情報通信技術）等を活用しながら主体的に学びに取り組んだり、地域の様々な活動に参加して体験的に学びを深めたり、スポーツや芸術などに打ち込むなど、生徒一人ひとりが自己の可能性を伸ばす環境を整えることが可能である。また、四年制大学等の上級学校への進学にも対応できる。

今後、こうした個々の生徒のニーズに応じた通信制教育のあり方や仕組みについて研究を進めるとともに、現在、第1通学区（北信地区）と第4通学区（中信地区）に各1校配置されている通信制高校について、地理的に離れたところに住む生徒のためにサテライト校を導入するなど、通信制教育の充実・拡大を図る。

2 当面の推進計画

全体構想の具体策の一つとして、望月高等学校の廃止に伴う施設を活用し、平成32年度（2020年度）に長野西高等学校通信制サテライト校を設置する方向で、地域や学校関係者とともに検討を進める。通信制の特長を活かしながら、生徒の学習を支援する仕組みづくりやキャリア教育の充実を図る等、通信制教育の新たな学びの場を検討していく。

(参考)

1 通信制の学びについて

自学自習を基本に、添削指導、面接指導により学習を進め、試験を経て単位を認定する。

2 サテライト校について

通信教育を実施する高等学校（本校）から離れたところに設置される施設。本校の附属施設として位置づけられ、本校の教員が、添削指導、面接指導、及び試験を実施する。